

愛犬のしつけは「情報収集」が命！！
愛犬のしつけ習得の完成度を低く評価するオーナー
「飼い主が知識をつける」ことを課題に
「専門家・同じ悩みを持つ方からの情報収集」がポイント
～愛犬のしつけに関する意識調査～

T & D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：仲尾 孝）は、犬を飼っている20～80代の男女1,000人を対象に、『犬のしつけに関する意識調査』（インターネット調査）を実施しました。

調査概要

- 調査対象：全国の20歳以上の男女（犬を飼っており、しつけに悩んだ経験がある方）
- 有効回答数：1,000サンプル（男性・468サンプル、女性・532サンプル）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査期間：2014年7月16日(水)～2014年7月18日(金)

※多頭飼いの方は最近飼った犬に関して回答しています。

調査背景

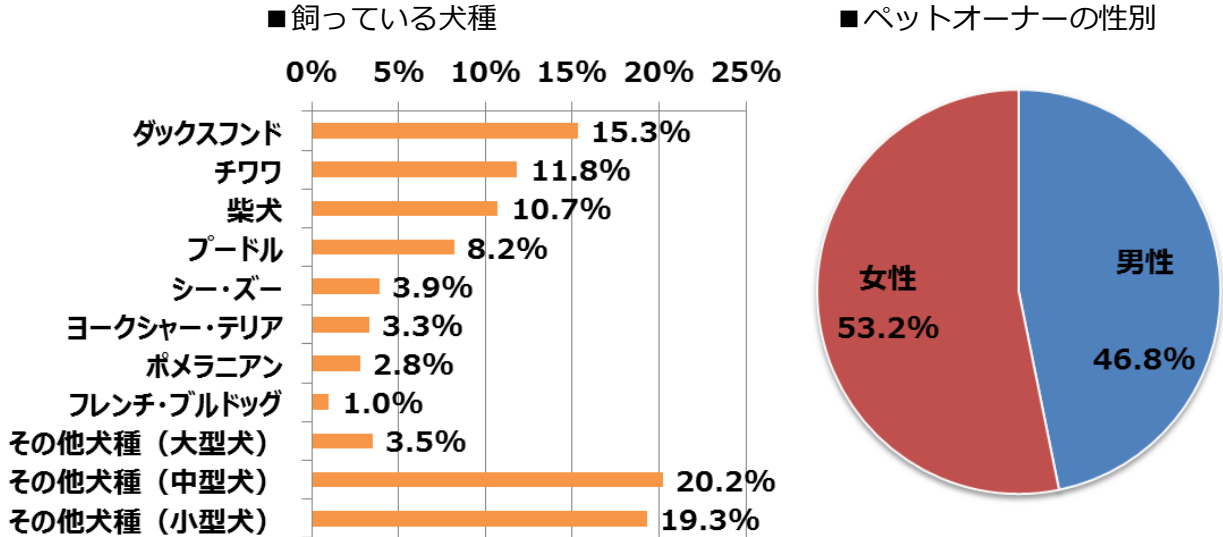
ペットと人が生活をする上で「しつけ」は欠かすことができません。しかし、愛犬が言うことを聞いてくれない、しつけ方法がわからない、など悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。そこで、犬オーナーに対し、「愛犬のしつけに関する意識調査」を行いました。

調査結果サマリー

- 愛犬のしつけ習得の完成度は10点満点中、平均5.47点。しつけの完成度を高く評価しているオーナー（6点以上）と平均以下（5点以下）のオーナーとの意識・行動の差が明らかに。
- しつけに失敗・後悔した経験があるオーナーは57.8%。全体では、「犬がわがままになった（29.4%）」「犬が言うことを聞かなくなった（18.7%）」「主従関係ができていない（15.7%）」と悩むオーナー多数。
- 失敗・後悔の内容について、6点以上のオーナーは5点以下のオーナーと比べ、「長期間留守番をさせられない（+4.1pt）」「犬が臆病になった（+2.7pt）」との悩みが多く、順調にしつけを習得している愛犬でも留意が必要。
- また、しつけの失敗・後悔への対応は、6点以上のオーナー「もっとほめる（30.1%）」、5点以下のオーナー「飼い主が知識をつける（27.2%）」との回答がトップ。
- しつけ経験者が考える効果的なほめ方、叱り方は、「すぐにほめる」、「すぐに叱る」。
- 6点以上のオーナーは5点以下のオーナーと比べ、様々な経路からしつけの情報を入手しており、特に専門的知識・同じ悩みを抱えている方のリアルな情報を得ていることが明らかに。知識の質・情報量の差がしつけ習得の完成度に影響？

NewsRelease

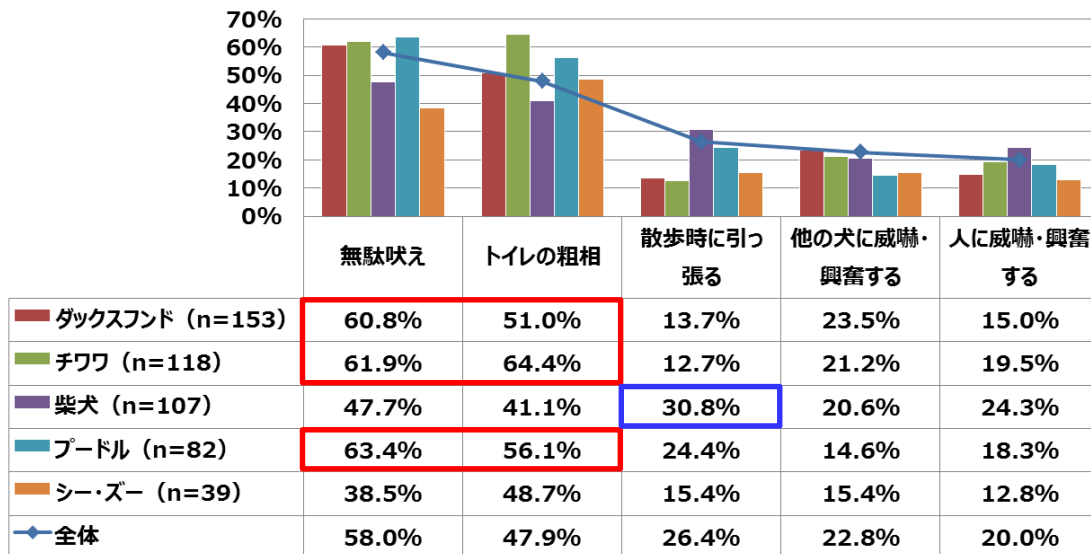
調査結果概要



■あなたが、愛犬の行動で「困っている (いた) こと」はどのようなことですか？ (複数回答) n=1,000

<犬種別>

※愛犬の行動で「困っている (いた) こと」×飼っている犬種上位 5 項目



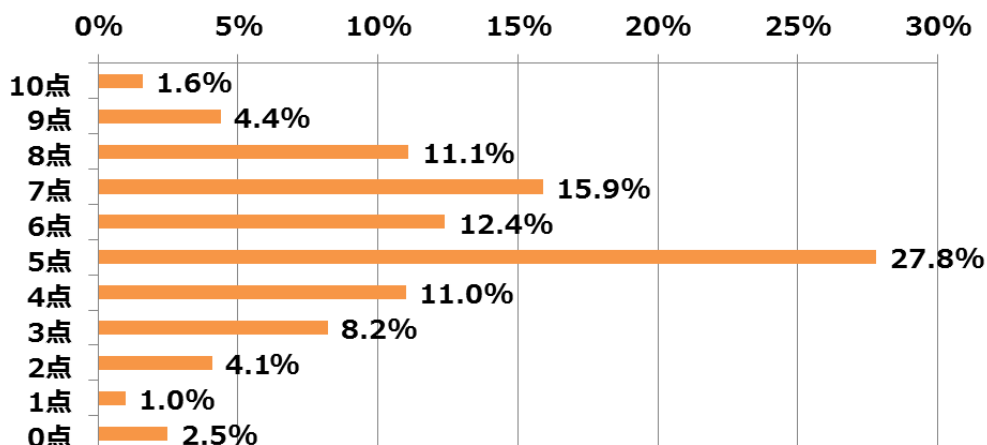
愛犬の行動で「困っている (いた) こと」を、飼っている犬種の上位 5 項目で分類すると、犬種により特徴が出る結果となりました。「ダックスフンド」「プードル」「チワワ」は「無駄吠え」「トイレの粗相」で困ったとの割合が全体と比べ高く、似たような傾向を示しています。特に「無駄吠え」は3つの犬種全てで6割以上のオーナーが回答しており、全体でも「困っている (いた) こと」のトップとなっています。また、「柴犬」は、「散歩時に引っ張る」との回答が他の犬種と比べ多く、活発な様子がうかがえます。

NewsRelease

■愛犬のしつけ習得の完成度をお答えください。

(単数回答) n=1,000

<全体>



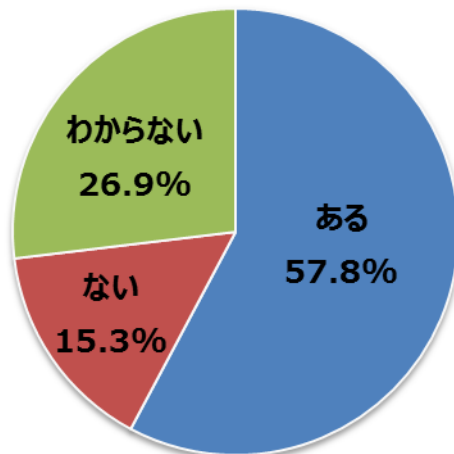
<犬種別>

全体	ダックスフンド (n=153)	チワワ (n=118)	柴犬 (n=107)	プードル (n=82)	シー・ズー (n=39)
5.47	5.14	5.42	5.85	5.71	5.64
ヨークシャー・テリア (n=33)	ポメラニアン (n=28)	フレンチ・ブルドッグ (n=10)	その他大型犬 (n=35)	その他中型犬 (n=202)	その他小型犬 (n=193)
5.48	5.57	6.30	5.89	5.38	5.37

愛犬のしつけ習得の完成度を「とても満足している」を10点、「普通」を5点、「全く満足していない」を0点としてお聞きしたところ、全体の平均点は「5.47点」となりました。

■あなたは愛犬のしつけにおいて失敗したと感じたり、後悔したことがありますか？

(単数回答) n=1,000



愛犬のしつけにおいて失敗したと感じたり後悔したことがあるかという質問では57.8%の方が失敗・後悔の経験があると回答しました。半数以上の方がしつけにおいて、失敗・後悔の経験があるようです。

NewsRelease

■あなたが愛犬のしつけにおいて失敗したと感じたり、後悔したことはどのようなことですか？

(複数回答) n=578

	①6点以上 (n=241)	②5点以下 (n=337)	①-②	全体 (n=578)
犬がわがままになった	22.8%	34.1%	-11.3pt	29.4%
犬が言うことを聞かなくなった	11.2%	24.0%	-12.8pt	18.7%
主従関係ができていない	8.7%	20.8%	-12.1pt	15.7%
犬が臆病になった	16.6%	13.9%	2.7pt	15.1%
長期間留守番をさせられない	14.5%	10.4%	4.1pt	12.1%
犬が頑固になった	9.1%	11.6%	-2.4pt	10.6%
犬がわざと失敗やイタズラをするようになった	8.3%	12.2%	-3.9pt	10.6%
人に噛みつく・吠える	5.4%	13.9%	-8.6pt	10.4%
他の犬に噛みつく・吠える	6.6%	11.0%	-4.3pt	9.2%
犬が攻撃的になった	5.0%	11.0%	-6.0pt	8.5%
その他	6.2%	3.9%	2.4pt	4.8%
犬が体に触れられることを嫌がる	2.1%	6.2%	-4.2pt	4.5%
犬と一緒に散歩以外の外出ができない	2.1%	4.2%	-2.1pt	3.3%
最近飼った犬に対しては失敗や後悔はない	14.5%	5.0%	9.5pt	9.0%

愛犬のしつけにおいて失敗したと感じたり、後悔したことを具体的にお聞きした結果、「犬がわがままになった (29.4%)」「犬が言うことを聞かなくなった (18.7%)」「主従関係ができていない (15.7%)」との回答が多く集まりました。また、愛犬のしつけ習得の完成度別で比較をしてみると、6点以上のオーナーが5点以下のオーナーよりも失敗・後悔したと感じている項目が「長期間留守番をさせられない (+4.1pt)」「犬が臆病になった (+2.7pt)」の2項目であり、順調にしつけを習得している愛犬でもそのような兆候について留意する必要があるようです。

NewsRelease

■愛犬のしつけにおける失敗や後悔に関して、どのようにすれば良かったとお考えですか？ (複数回答) n=526

	①6点以上 (n=206)	②5点以下 (n=320)	①-②	全体 (n=526)
もっとほめる	30.1%	23.4%	6.7pt	26.0%
飼い主が知識をつける	23.8%	27.2%	-3.4pt	25.9%
もっとスキンシップをとる	28.6%	22.8%	5.8pt	25.1%
プロによるトレーニングを受ける	10.7%	22.8%	-12.1pt	18.1%
他の犬との交流を多くする	15.5%	17.8%	-2.3pt	16.9%
家族が協力する	16.5%	17.2%	-0.7pt	16.9%
もっと叱る	10.2%	15.6%	-5.4pt	13.5%
もっと遊ぶ	13.6%	10.9%	2.7pt	12.0%
他の人との交流を多くする	10.7%	9.1%	1.6pt	9.7%
もっと撫でる	8.7%	9.4%	-0.6pt	9.1%
散歩の時間を長くする、回数を多くする	8.7%	6.6%	2.2pt	7.4%
必要に応じて叩く	7.3%	5.6%	1.7pt	6.3%
特になし	5.8%	6.3%	-0.4pt	6.1%
しつけグッズを利用する	2.9%	5.0%	-2.1pt	4.2%
間接的な叱り方をする(天罰方式など)	2.4%	4.4%	-1.9pt	3.6%
その他	3.9%	1.6%	2.3pt	2.5%

愛犬のしつけにおける失敗や後悔に関してどのようにすれば良かったと考えているかをお聞きしたところ、最も多い回答は「もっとほめる(26.0%)」、次いで「飼い主が知識をつける(25.9%)」となりました。しつけ完成度5点以下のオーナーは、「飼い主が知識をつける(27.2%)」が全体でトップの回答であり、ご自身のしつけに関する知識を課題と考えるオーナーが多いことがうかがえます。また、しつけ完成度別で比較をすると、6点以上のオーナーは「もっとほめる(+6.7pt)」「もっとスキンシップをとる(+5.8pt)」「必要に応じて叩く(+1.7pt)」といった回答が5点以下のオーナーを上回っています。愛犬とのコミュニケーションの意識の高さが関係を深める反面、オーナーへの依存度が高まり「長期間留守番をさせられない」「犬が臆病になった」という失敗につながるのかもしれない。

NewsRelease

■あなたが愛犬のしつけで効果的だと思うほめ方を教えてください。

(複数回答) n=1,000

	①6点以上 (n=454)	②5点以下 (n=546)	①-②	全体 (n=1,000)
すぐにほめる	78.0%	72.7%	5.3pt	75.1%
大げさにほめる	39.6%	39.9%	-0.3pt	39.8%
頭や体をなでる	39.0%	37.5%	1.4pt	38.2%
おやつをあげる	30.6%	34.2%	-3.6pt	32.6%
短くほめる	7.7%	5.9%	1.8pt	6.7%
冷静にほめる	4.8%	2.4%	2.5pt	3.5%
おもちゃをあげる	3.5%	3.1%	0.4pt	3.3%
その他	0.2%	0.0%	0.2pt	0.1%

愛犬のしつけで効果的だと思うほめ方をお聞きしたところ、「すぐにほめる」が75.1%で突出した回答となりました。しつけ完成度6点以上のオーナーは78.0%と、その傾向がより顕著であることがわかりました。

■あなたが愛犬のしつけで効果的だと思う叱り方を教えてください。

(複数回答) n=1,000

	①6点以上 (n=454)	②5点以下 (n=546)	①-②	全体 (n=1,000)
すぐに叱る	55.9%	52.2%	3.7pt	53.9%
短く叱る	32.6%	31.3%	1.3pt	31.9%
冷静に叱る	23.8%	16.5%	7.3pt	19.8%
無視する	14.8%	16.1%	-1.4pt	15.5%
犬が驚くような音を立てる	13.7%	12.1%	1.6pt	12.8%
軽く叩く	12.1%	9.0%	3.1pt	10.4%
大げさに叱る	8.4%	11.7%	-3.4pt	10.2%
その他	0.9%	0.7%	0.1pt	0.8%

また、効果的だと思う叱り方をお聞きしたところ53.9%の方が「すぐに叱る」と回答しました。しつけ経験者の例から学ぶとすれば、しつけではすぐにほめ、すぐに叱ることが効果的といえそうです。

NewsRelease

■あなたが愛犬のしつけをする上で参考にする情報源は何ですか？

(複数回答) n=1,000

	①6点以上 (n=454)	②5点以下 (n=546)	①-②	全体 (n=1,000)
インターネットからの情報	41.4%	41.6%	-0.2pt	41.5%
ペットショップや動物病院からの情報	47.6%	32.4%	15.2pt	39.3%
雑誌や本からの情報	39.0%	31.0%	8.0pt	34.6%
知人や友人からのアドバイス	39.9%	27.3%	12.6pt	33.0%
TVなどの情報	14.5%	13.2%	1.4pt	13.8%
ブログやSNSからの情報	7.9%	4.8%	3.2pt	6.2%
その他	0.9%	0.9%	0.0pt	0.9%
特になし	10.8%	22.3%	-11.6pt	17.1%

ペットオーナーがしつけの参考にする情報源をお聞きしたところ、全体では「インターネットからの情報(41.5%)」、次いで「ペットショップや動物病院からの情報(39.3%)」、「雑誌や本からの情報(34.6%)」の順となりました。愛犬のしつけの完成度で比較すると、6点以上のオーナーは、5点以下のオーナーと比べほとんどの項目の割合が高く、様々な経路で情報収集をしていることから、情報の量を確保していることがうかがえます。また、「ペットショップや動物病院からの情報(+15.2pt)」「知人や友人からのアドバイス(+12.6pt)」の項目は、6点以上のオーナーが5点以下のオーナーを大きく上回っており、インターネットやブログ・SNSといったウェブ媒体だけではなく、専門的知識を持つ方や同じような悩みを持つ方からのリアルな情報を得ていることが分かります。この結果から、飼い主の知識の質・情報量がしつけの完成度に影響していることが推測できます。

NewsRelease

■ペット用のしつけグッズを利用したことがありますか。

(単数回答) n = 1,000

	①6点以上 (n=454)	②5点以下 (n=546)	①-②	全体 (n=1,000)
ある	29.5%	18.9%	10.7%	23.7%
ない	70.5%	81.1%	-10.7%	76.3%

ペット用のしつけグッズを利用したことがありますかとお聞きしたところ、グッズを利用したことが「ある」オーナーは全体で 23.7%との結果になりました。そのなかで、6点以上のオーナーは 29.5%の方がグッズを使用しており、5点以下のオーナーの 18.9%と比べ、10.7pt の開きがあることから、しつけの際にグッズを活用していることがうかがえます。

■愛犬のしつけに関するグッズの用途をお教えてください。

(自由回答) n=134

【しつけ完成度 6 点以上の方のグッズの用途 上位 5 項目】

用途	回答数
甘噛み・かじり防止	15
無駄吠え防止	12
トイレのしつけ	10
食糞防止	6
散歩時の引っ張り防止	4

更に 6 点以上のオーナーにグッズの用途を聞いたところ、回答が多かったのは「甘噛み・かじり防止」「無駄吠え防止」「トイレのしつけ」という結果となりました。愛犬の様子や性格の特徴をよく観察したうえで、効果的にグッズを活用することでしつけの完成度を高めることができるかもしれません。

本調査結果に関するお問い合わせ先

ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 経営企画部 佐藤

電話 : 03-5844-1120

URL : <http://www.petfamilyins.co.jp/>